



鹿児島県立霧島高等学校

ESD(Educatio for Sustainable Development)研究班

鹿児島県霧島市牧園町宿窪田330番地5

高校生による小学校での「浮かぶボール」の工作体験提供の様子



「浮かぶボール」の工作体験提供 ～次世代がともに取り組む創造力を～

アルミ缶とペットボトルを素材とし、缶で正二十面体のボールとし、ペットボトルにストローを取り付けて管にする。ストローから息を吹き込むことでペットボトル内のボールが浮き上がる現象を工作者自らが体験できる。技術が新たな価値を生み出す可能性を示している。科学技術の進展には多様な学びと経験が必要で学びの動機につながる。近隣の小中学校や科学館で提供を継続している。リサイクルを含めて処理や廃棄されるものは少なからず環境への負荷をかけていること、近年ではワンウェイプラスチック製品の見直しが進んでいるが、コストバランスと負担者を考えたり、既存の技術に改良を加えたりすることが必要である。次世代人材育成への取り組み。